資料№.１

平成 23 年度行政改革の推進について

１　実施計画の PDCA サイクルによる進捗管理

実施計画の 36 項目について、上半期の取組状況を検証し、下半期に向けた取組や課題等を明確にする。（資料№.２）

２　定員適正化計画の見直し

平成 18 年４月に策定した行政改革大綱・実施計画では、合併後 10 年が経過する平成 27 年度当初 577 人とすることを目標としてきたが、平成 23 年度当初 573 人と目標を達成した。第２次行政改革大綱・実施計画では、平成 23 年度見直し新たな適正化計画を策定することとしている。（第２回推進委員会提出予定）

３　職員提案制度の見直し（拡充）

(1) 現状と課題

・第２次行革大綱の「コスト・スピード・成果を重視した行政経営」を実現していくため、担当課段階における具体的取組が求められている。

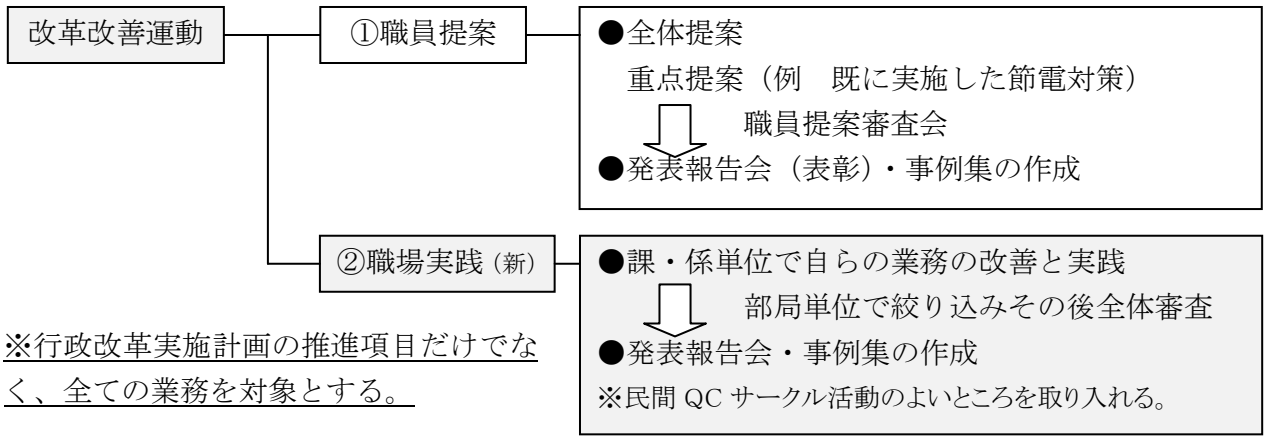
・定員適正化計画の見直しにより更に職員数が減少する中で、創意工夫による業務・事務改善が求められている。

・職員提案数の減少に見られるように、行革に対する職員意識は必ずしも高いとはいえず、職員のモチベーション向上や意識改革が求められている。

(2) 概要

今までの①職員提案と②職場実践活動を合わせた全庁的な改革改善運動を実施し、各職場での具体的な取組により業務改善と意識改革を推進する。

メインテーマ　　コスト(K)・スピード(S)・成果(S)の３つをキーワードとした改革改善



※行政改革実施計画の推進項目だけでなく、全ての業務を対象とする。

(3) 目指す効果

・常に業務の「質」の向上を図ることができる組織づくり
・従来の方法にとらわれない簡素で効率的な仕事のしくみづくり
・積極的な発想、創意工夫ができる職員づくり
・コミュニケーションの活性化による、明るく、楽しい職場づくり
・事例発表を通じた職員のプレゼンテーションの向上　など

⇒ 効率的に市民サービスを向上

(4) 取組（総務課例）

・行政係　　（行革実施計画）
　庁舎のピークカット１５％大作戦　　⇒経費節減と資源保護
・職員係
　職員の災害ボランティア活動推進　　⇒職員の資質向上
・広報情報係
　民間業者による「くらしのガイド」作成　　⇒事務事業の適正な民間委託の推進
・車両係
　市バス等の使用基準の見直し　　⇒事務事業の適正な民間委託の推進
　※係全体で、創意工夫し楽しく取り組む。（名称等）

(5) 取組スケジュール

９月下旬　部課長会議（取組協議）
　⇒まずは課・係内で話し合い、テーマや内容を決める。（重要）

１０・１１月　①職員提案募集
　②実践活動（上半期に取り組んでいる実践活動を含めまとめる）
　※原則として各課全ての係単位で１件以上取組み、別紙の職場実践活動報告書を提出する。

１２月　①職員提案審査会
　②実践活動部内選考
　※総務部・市民部・産業部・教育委員会・消防本部で各１件選考

１月　－コスト・スピード・成果を重視した－
　平成２３年度改革改善運動発表報告会（仮称）
　・各部発表（各部 15 分）
　　各部長等概要説明
　　発表（パワーポイント・映像・寸劇等）
　　質疑
　・職員提案表彰

２月　改革改善運動事例集の作成

（別紙）

平成２３年度　コスト・スピード・成果を重視した改革改善活動

職場実践活動報告書（例）

<table>
<tr><td>課・係</td><td>総務課・行政係</td></tr>
<tr><td>テーマ</td><td>庁舎のピークカット１５％大作戦</td></tr>
<tr><td>目　的</td><td>東日本大震災による電力不足（計画停電）を避けるため、糸魚川市節電行動計画に基づき市役所庁舎の節電対策を進め、庁舎使用電力のピークカット１５％を実現する。</td></tr>
<tr><td>現　状</td><td>・行革実施計画の経費節減と資源保護において、電気料等について削減し、平成 28 年度では 22 年度比６％以上削減を目指している。
・市役所庁舎においては、一部で LED の導入を進め削減に努めてきたが、市民会館と一体的な電気契約となっているため、市民会館の催物等から昨年度のピークは 394ｋｗとなるなど、削減は厳しい状況であった。</td></tr>
<tr><td>活　動
内　容</td><td>昨年度ピーク時の 394ｋｗを 15%カットした 334ｋｗ以下を目指し、次の取組を実施する。（60ｋｗの削減）
(1) 夏季以前の節電対策により 30ｋｗ程度節電
① 蛍光灯間引き⇒全体 918 本のうち 226 本を間引く。
② LED 照明の導入⇒１階窓口・正面玄関で 93 台
③ エレベータ・自動ドアの一部停止
(2) 夏季の節電対策により 30ｋｗ程度節電
① 職員提案の実施⇒電気ポット・パソコンの使用見直し
② 冷房設定温度・時間の見直し⇒28℃以上、時間は 16 時頃まで
(3) 市民会館催物開催状況により、明らかにオーバーすることが見込まれる場合は、冷房を停止する。⇒8 月 10 日午後に実施</td></tr>
<tr><td>効　果</td><td>・夏季のピークは 297ｋｗとなり、目標を達成することができた。
・電気使用量（料）は次のとおりで、経費節減と資源保護の目標達成に向け、電気料を大幅に削減することができた。
単位：千円（ ）内は使用料ｋｗ
<table>
<tr><td></td><td>４月</td><td>５月</td><td>６月</td><td>７月</td><td>計</td></tr>
<tr><td>H22</td><td>863(44,030)</td><td>885(45,760)</td><td>1,073(59,810)</td><td>1,346(75,350)</td><td>4,167(224,950)</td></tr>
<tr><td>H23</td><td>831(38,820)</td><td>846(39,450)</td><td>874(40,940)</td><td>1,082(55,990)</td><td>3,633(175,200)</td></tr>
<tr><td>差引</td><td>△32(△5,210)</td><td>△39(△6,310)</td><td>△199(△18,870)</td><td>△264(△19,360)</td><td>△534(△49,750)</td></tr>
</table>
・節電に対する職員提案の実施等により、各職場での取組が進み、職員の積極的な姿勢が見られた。</td></tr>
</table>